

## 編集後記

「降雨量記録更新」,「観測史上初」,「大雨特別警報」の言葉が、本号の編集終盤の7月に入り飛び交い、九州地方を中心とする豪雨が、人的・経済的に甚大な被害をもたらしました。加えて、新型コロナウイルス感染症が再び拡大し、避難所では感染防止対策を図りながらの運営がなされ、被災地のボランティア活動は地域を限定した募集となるなど、被災地や被災者への負担は重く、復旧の歩みを阻んでいます。一日も早い疫病の収束と復旧の歩みが加速することを願って止みません。

さて、奇しくも8月号は「河川工事」がテーマです。常態化する豪雨、昨年の台風19号により各地で発生した堤防決壊を受け、水害リスク評価、河川監視、情報伝達の見直し、河川構造物の更新及び維持管理への新しい技術導入などが図られています。他方、民間事業者や市民参加型の河川空間の持続可能な利用を創造する動きも見られています。

巻頭言を東京大学大学院、工学系研究科の池内幸司教授にお願いしたところ、本年7月の豪雨にも触れて頂き、ソフト、ハードの対策に加え、企業における水害を対象とした自然災害に対する事業継続計画（BCP）促進の必要性、また、地球温暖化に伴う気候変動による今世紀末の治水計画の対象となる数値を具体的に示し頂き、その危険性を改めて認識させられました。

河川は時には大規模な氾濫を生じて、我々の生存を脅かす一方で、なく

てはならない恩恵を享受してくれます。河川は自然の一部であり、その河川ごとに独特な生態系を育み、流域の住民にとって貴重な自然体験、交流の場でもあります。この河川とどう向き合い持続可能なものとして行くのか、そう考えた時にヒントになるかもしれないと考えたのが、中国・都江堰でした。都江堰は二千三百年前の古代水利工で、現在までその機能を失うことなく機能し、随所に先人の知恵を見ることが出来ます。今回の豪雨でも問題となったバックウォーター現象も、取水口の土砂堆積防止を図り本流へと逃がす構造部分に用いられ、維持管理作業を容易にしているなど、その優れた土木技術の高さには驚かされます。中央大学研究開発機構の石川幹子教授にお願いし、先生がご研究されているグリーンインフラ「林盤」とともに、悠久の歴史に学ぶ持続可能な社会的共通資本整備の原点についてご執筆を頂きました。また、表紙の写真も石川先生を通じて、中国・都江堰市からご提供を頂きました。

「温故知新」、先人の知恵を発展させ、水害の低減及び河川空間の新たな創造など、河川から享受する恩恵を持続可能とし、我々の暮らしを将来にわたり豊かなものとする一助となればと願うところです。

本号では、新しい取り組みについても数多くご執筆を頂きました。何かと制限、影響のある中、ご多忙にもかかわらずご寄稿頂きました執筆者の皆様や関係者に心からお礼を申し上げます。  
(松澤・松本)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	中岡 智信
渡邊 和夫	

### 編集委員長

見波 潔 村本建設(株)

### 編集委員

小櫃 基住	国土交通省
安井 清貴	農林水産省
瀧本 順治	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
穴井 秀和	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
宇野 昌利	清水建設(株)
佐藤 誠治	(株)大林組
内藤 陽	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
竹田 茂嗣	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
鈴木 貴博	日本国土開発(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO
中川 明	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
新井 雅利	(株)加藤製作所
小六 陽一	古河ロックドリル(株)
太田 正志	施工技術総合研究所

### 事務局

(一社)日本建設機械施工協会

### 9月号「コンクリート工、コンクリート構造特集」予告

・コンクリート工における生産性向上 ・パイロット孔が不要な押し切り式ワイヤーソー装置の開発 ・世界最高級強度の吹付けコンクリート「T-HPSC100」を開発 ・動画画像分析を活用したコンクリートの全量受け入れ管理システムを開発 ・山岳トンネルにおける覆工コンクリートの急速打設システムの開発 ・橋梁現場の生産性を向上させる技術開発 ・RC 栈橋上部工における汎用プレキャスト工法の開発 ・N式凝結テスターによる打重ね管理の提案 ・働き方を変える打継ぎ目処理剤の開発 ・ポリウレタ樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術 ・Fc300 N/mm<sup>2</sup>クラスの超高強度・高性能コンクリートの開発と適用 ・防潮堤工事の型枠・コンクリートの施工実績 ・輝度を利用したコンクリートひび割れ画像測定に関する精度検証 ・覆工コンクリート施工目地部の一体化防止材料の適用効果に関する研究

### 【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
- ②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえ FAX をお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 9,408円(税・送料込)

## 建設機械施工

第72巻第8号(2020年8月号)(通巻846号)

Vol.72 No.8 August 2020

2020(令和2)年8月20日印刷

2020(令和2)年8月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 田崎 忠行

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話 (052) 962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への  
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中